

市長の 所信表明を 問う

～代表質問～

4月の市長選挙で市民の信任を得て、引き続き4年間市政運営を担う日永貴章市長は、自らが思い描く今後の愛西市のまちづくりの所信表明を行いました。表明に対し、各会派から質問が行われました。

「持続可能な愛西市」の実現

新生クラブ

佐藤信男



Q 歳入規模や実情に見合った行政運営にどのように取り組むのか。

A 歳入不足を補うため基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況が続いている。歳入規模に合った歳出構造へ転換していくことが課題だ。財政改革に係る組

織を設置し、歳出削減策を検討していく。

Q 行政改革で、職員が柔軟に働くことができる環境整備とは。

A 愛知県内の複数の市町村で既に実施または試行的に実施している開庁時間の短縮を本市でも導入したい。

Q 農業や観光振興などにより、快適で活力とにぎわいのあふれるまちづくりにどう取り組むのか。

A 本市の基幹産業である農業を振興することとは、農業従事者の創出、新規就農の受皿となる。レンコンなどの特産品を発信することで、市の認知度や魅力の向上につながる。

市の抱える課題は 拓く愛西の未来

角田龍仁



Q 学校の老朽化対策は喫緊の課題。基金があまりない中、どう進めるか。

A 学校からの要望を基にした学校との協議結果や保守業者からの指摘事項を総合的に勘案して、老朽化対策に取り組む、財政状況を慎重に見極め

ながら、教育委員会と連携して進める。

Q 4町村が合併して20年が経過しても依然として抱える課題は。

A 公共施設の最適化と関連する財政の健全化の確保が重要な課題だ。維持管理コスト、耐用年数を分析し、統廃合、複合

化、多機能化、長寿化、民間活力の導入も含めた最適な活用方法を判断し、再編に取り組む。

Q 市長は、これからの4年間、どのような事業を全力で取り組むのか。

A 持続可能な愛西市の実現のために、市の歳入規模に合った行政改革が不可欠だと考えている。